



大開 小学校

所在地 〒553-0007 福島区大開 2-10-28

電話番号 6461-0460

標準服 有り

校長名 麥田 葉子

ホームページ <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e531064>



学校概要

今年、創立 105 年を誇る本校は、児童数 331 名、教職員 34 名、学級数は 19 学級（内特別支援学級7学級）です。子ども達は、地域の皆様から温かく見守られ、元気にのびのびと育っています。異学年交流のたてわり班があり、毎週木曜日の児童集会では委員会が中心となってみんなが楽しめるゲームなどを計画し、活動しています。また、「大開こどもまつり」や「全校オリエンテーリング」などの機会を通して上級生のリーダーシップを育てています。

沿革

大正 9 年 大阪市第5 西野田尋常小学校として創立
昭和 22 年 大阪市立大開小学校と改称
昭和 46 年 全国花いっぱい学校コンクール総理大臣賞受賞
平成 13 年 創立 80 周年・校舎竣工記念式典
平成 27 年 ICT 教育推進研究指定校
～ 30 年
令和 2 年 創立 100 周年記念式典

児童数（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学年	男子	女子	計	学級数
1	24	27	51	2
2	21	36	57	2
3	29	29	58	2
4	26	23	49	2
5	38	29	67	2
6	24	25	49	2
特別支援学級				7

令和 6 年度全国学力・学習状況調査および、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学力・学習状況

国語	算数
62	62

（平均正答率％）小学 6 年生

これまでの成果と今後の課題

国語科の学習においては、本校の研究教科として「読む力」に焦点をあてて読解的文章を通して研究しています。その結果、短答式の問題に対する正答率においては全国平均より上回ることができました。課題としては、情報を整理してまとめる力の育成が挙げられます。

算数科では、「数と計算」「データの活用」で全国平均を上回る結果となりました。一方、立式後の計算を正しい解に導くことがあまりできていないという結果が出ており、基礎となる計算力のさらなる向上をめざします。

体力・運動能力、運動習慣

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.83	19.96	31.08	37.67	45.68	9.15	156.55	22.60	53.26
女子	13.81	17.75	33.67	34.70	36.60	9.76	148.33	11.38	52.94

（平均値）小学 5 年生

これまでの成果と今後の課題

体力合計点は、男子では市平均・全国平均を上回り、女子では市平均を超え、全国平均に迫る値となっています。男女共、昨年度より向上しており、体育の学習や他の取り組みの一定の成果が表れていると言えます。

今年度は柔軟性の結果が低くなっているため、柔軟性とけがの関わりや家庭でできるストレッチなどの紹介を通して、一人一人の意識を高めるようにしていきます。そして、運動に苦手意識がある児童でも体を動かす機会を増やしていくようにするため、「運動だいすき週間」を学期に一度ずつ実施していきます。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

福島区 大開小学校

大開小学校の教育

校訓 <<よく考え ねばり強く すすんでする>>

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

子どもまつり



自然体験学習



修学旅行



全校遠足



運動会



大開小学校しあわせのひけつ

1. いつもえがお
2. はなすことばがまえむき
3. もくひょうにむかってがんばる
4. 人のためにこうどうする
5. ありがとうをたくさん言う

運動だいすき週間



ICT 機器の活用



地域の方々によるおもちつき



読書活動の充実



「運営に関する計画」（抜粋）

安全・安心な教育の推進

○令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、87.4%以上にする。

○令和7年度の小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、73.3%以上にする。

未来を切り拓く学力・体力の向上

○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、50.2%以上にする。

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「1週間の総運動時間」が 60 分未満の児童の割合を、14.2%以下にする。

学びを支える教育環境の充実

○令和7年度の授業日において、児童の 80%以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70.7%を超えるようにする。

○令和7年度の小学校学力経年調査において「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を 15.7%以下にする。